

2025年 3月 3日

保護者 様

一宮市立朝日西小学校運営協議会長 北川 敬 治
一宮市立朝日西小学校校長 井上 綾 見

「2024年度学校評価アンケート」結果のお知らせ

日差しのうららかに春の足音を感じますが、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、2学期末に実施させていただきました学校評価アンケートの結果は、下記のとおりです。ご報告させていただきます。

記

1 保護者評価について（回収率：87.7%）

集計結果欄の数字は、「1：そう思う」「2：どちらかといえばそう思う」の合計の割合です。ほとんどの項目で、「1」+「2」が80%以上となり、おおむね目標が達成されていると考えます。保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげで、全体的には肯定的な評価をいただいています。

なお、今回の結果につきまして、来年度の学校経営及び学級経営に生かし、教育活動の一層の充実を図ってまいりますとともに、数値の低い項目やいただいたご意見につきまして、分析検討を重ね、より向上できるよう努力してまいります。

項目	評価事項	集計結果 (%)	
		2024年度	2023年度
1	学校からの情報提供（プリント、携帯メール、ホームページなど）に満足している。	91.1	87.8
2	学習内容や進度、学校生活の様子、持ち物などが、たよりや連絡帳、懇談などでよくわかる。	91.1↑	82.6
3	学校は、保護者の声に耳を傾けるよう努めていると思う。	91.2	91.7
4	学校は、学習内容を確実に身につけるために努めていると思う。	91.9	91.5
5	学校は、いじめ問題行動をなくすように努めていると思う。	93.1	94.0
6	学校は、児童の安全確保・事故防止に努めていると思う。	95.5	93.4
7	学級担任は、お子さんのことを理解し、接していると思う。	94.6	92.4
8	学校の教職員は、丁寧な対応をしていると思う。	90.2↓	98.3
9	お子さんは、社会生活のルールやマナーを守って生活していると思う。	96.4	98.3
10	お子さんは、あいさつができていると思う。	83.2	86.2
11	お子さんには、思いやりの心が育っていると思う。	96.4	96.7
12	お子さんは、楽しく学校へ通っていると思う。	92.9	92.5
13	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	82.5	86.4
14	お子さんは、家庭での学習習慣が身についていると思う。	67.9↓	77.0
15	保護者や地域の人たちが気軽に足を運べる学校だと思う。	89.4	91.6

（太数字は前年より数値があがったもの ↑ ↓は前年より5%以上数値が増減したものの）

【項目1～8、15 信頼される学校】

○ 項目3～8および15において、肯定的な回答（「1」＋「2」）が90%以上となる高い評価をいただいています。

特に項目1の「学校からの情報提供（プリント、携帯メール、ホームページなど）に満足している。」および項目2の「学習内容や進度、学校生活の様子、持ち物などが、たよりや連絡帳、懇談などでよくわかる。」については、tetoru等の活用を通して情報発信および対応についてより精度を高める工夫を繰り返した結果、昨年度の数値を上回る評価をいただきました。今後も、学校からきめ細かい情報提供に努めてまいります。また、項目4、6、7では、昨年度を上回る評価をいただきました。今後も新しい学力観を反映した学習指導体制のより一層の確立と児童の安全確保・事故防止およびより一層の児童理解に努めてまいります。

△ しかし、項目8の「学校の教職員は、丁寧な対応をしていると思う。」については、肯定的な回答が昨年度よりも8%以上減少し、全体の項目をみても下げ幅が大きいことが分かります。今一度、教職員全員で、地域や保護者の方への対応に誠意をもって接しているか、振り返りを行い、改善策を講じていきたいと思ひます。

【項目9～14 「豊かな心」「確かな学力」「健やかなからだ」を育む教育活動】

○ 項目14をのぞいて、どの項目も肯定的な回答（「1」＋「2」）が80%を超える高い評価をいただいています。

特に項目11では、やや数値を下げたものの、依然96.4%という肯定的な評価をいただいております。委員会活動や、学級での係活動、放課での遊びの場面等で、友だちを思いやり、励まし合い、ともに高め合う姿が多く見られました。こうした場を通して児童の思いやりの心が育ってきているのだと思ひます。朝西っ子のよさを今後も伸ばしていきたいと思ひております。

△ 項目13「お子さんは授業がわかりやすいと言っている」については、情報端末を積極的に取り入れた「わかる授業」の改善・工夫を、職員一丸となって取り組みました。しかし、今回もさらに3.9%の減少という結果でした。今回の結果を受け止め、今後も、どの子どもたちも「できた、わかった」と思えるように、さらなる研鑽を積み重ねていきたいと思ひます。

項目14では、家庭での学習習慣の定着については肯定的な評価が昨年度より大幅に数値を下げ、67.9%という低い数値にとどまりました。項目単体では、4年連続の減少となり、職員も対策に頭を悩ませています。家庭学習の目的は、学校で学習したことの定着であり、学習したことを繰り返し練習することで、できなかったことができるようになり、分からなかったことが分かるようになることを児童に体験させていく必要があります。そのための具体的な手だてを考え、実践を繰り返していく必要があります。今後も適切に指導し、家庭と連携して、家庭学習の定着を図っていきたくと思ひます。

【学校へのご意見等】

設問2の「学校からの情報提供（プリント、携帯Eメール、ウェブサイト）に満足している。」について、3名の保護者の方からご意見をいただきました。また、4名の保護者の方から、建設的なご意見、心配ごとや困りごとや、ご要望をいただきました。それらのご意見を真摯に受け止めまして、学校運営協議会をはじめ、関係各方面との協議を含め総合的に判断しながら今後に生かしていきたいと思ひます。